

ココロン・カフェによる市民意見の概要

1 目的

次期計画の理念を実現するために、本市において必要なことを話し合っていただき、市民の意見を計画の内容に反映すること。

2 実施日時及び場所等

(1) 日時・場所

日 時	場 所	人数
平成 30 年 1 月 27 日 (土) 14:00~16:00	仙台市役所本庁 8 階ホール	18 名
平成 30 年 1 月 30 日 (火) 14:00~16:00	太白区中央市民センター 3 階大会議室	25 名

(2) 実施内容

① 仙台市説明

仙台市障害者保健福祉計画、仙台市障害福祉計画（第 5 期）、仙台市障害児福祉計画（第 1 期）の概要について説明。

② ワークショップ

1 グループ 5～6 人に分かれ、市職員がファシリテータとなって、次期計画で定めた 5 つの基本方針から、グループごとに 1 つまたは複数のテーマを選択して話し合いを実施。主に「共生社会の実現に向けた障害理解の促進と権利擁護の推進」について盛んに話し合いが行われた。

《意見の内訳》

No.	基本方針	件数
1	共生社会の実現に向けた障害理解の促進と権利擁護の推進	16 件
2	障害のある児童や発達に不安のある児童に対する支援の充実	1 件
3	地域での安定した生活を支援する体制の充実	3 件
4	生きがいにつながる就労と社会参加の充実	1 件
5	安心して暮らせる生活環境の整備	1 件

※ 各グループで話し合われた意見を集約したものの件数を集計

3 主な意見概要

- ・ 視覚障害といっても、全盲や弱視の方など障害特性は様々である。また、聴覚障害では、文章の読解力が無い場合や文字を認識できない場合もある。そのため、行政では個々の障害特性を理解できるような取り組みを行ってほしい。
- ・ 視覚障害のある方や車いすを使用している方が市営バスを利用しやすいように、職員に対する障害理解の促進を徹底してほしい。
- ・ パラリンピックも近づいているため、障害スポーツを体験していただき、障害理解促進を図るような取り組みを実施してほしい。
- ・ 小さいときや、学生時代に障害について学ぶことは有益であると考えます。
- ・ 障害理解を促進する際に、座学の研修だけではなく、障害のある方と無い方が一緒に考えるようなワークショップを設けてほしい。
- ・ 障害のある方が、自身の障害ではなく他の障害について学ぶ場も必要。
- ・ 発達障害などの目に見えにくい障害に関する研修も実施してほしい。
- ・ 聴覚に障害のある方の場合、防災に関する緊急の連絡をするときに、LINEを用いて対応しているケースもあるので、市でも SNS を活用した対応を考えてほしい。
- ・ 区役所などの公的な相談機関について、もっと身近に感じられて相談しやすい雰囲気にしてほしい。
- ・ 就労や社会参加につながる質の高い施策をどんどん実施してほしい。
- ・ 親なき後が心配なため、一人暮らしでもしっかりとサポートしてほしい。

【当日の様子】

